



## 全国曹洞宗青年会の 活動紹介 三六

### 仏法興隆花まつり千僧法要と WFBY世界仏教徒青年連盟五十周年

国際委員長 高柳 龍哉

四月二十六日（火）、奈良県東大寺大仏殿で、仏法興隆と世界平和を願い「仏法興隆花まつり千僧法要」が開催されました。この法要は全日本仏教青年会（以下、全日仏青）が主催し、昭和六十三年から毎年開催されてきた行事です。

世界中に猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染防止のため、一昨年はやむなく中止となり、昨年は開催直前に緊急事態宣言が発令され、奈良県在住者と全日仏青理事長のみで野外での法要が執り行われました。

そして今年も、各加盟団体から三人以内という人数制限を設けて、実に三年ぶりの現地開催が実現しました。全



東大寺大仏殿 法要の様子

国曹洞宗青年会（以下、全曹青）からは、山田俊哉やまだしゅんさい会長と岡島典文おかしまてんぶん副会長、WFBY世界仏教徒青年連盟（以下、WFBY）会長として村山博雅むらやまひろが顧問が現地に赴きました。

コロナ禍以前は一般参拝者を募り、多くの僧侶と共に祈りを捧げてこられました。本年は現地への参集が最少人数となりましたが、YouTubeでのライブ配信を千僧法要で初めて導入し、遠隔地より多くの会員や一般参拝者がオンラインで参加されました。

また本年は、全日仏青が加盟するWFBYが五十周年の節目を迎えます。これを記念し、五十年間で培われた団結力や世界最大の仏教ネットワークを

活かし、海外に向けてオンライン配信が行われました。場所は違えども世界各地より想いを合わせ、人々の幸福と安寧や世界平和を切に祈りました。



大仏殿へ向かう随喜衆

WFBYは、二〇一八年には第二十回WFBY世界仏教徒青年会議を千葉県成田市や大本山總持寺で開催し、仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与すべく、法要やシンポジウムを催しました。そして、今では仏教界でも浸透してきたSDGs（持続可能な開発目標）に対して積極的に取り組み、実現を支援していくことが表明された「東京宣言」などもこの時でした。

未曾有のコロナ禍が続く昨今、全曹青においても活動を継続していくことの大切さや難しさを改めて痛感しております。来期には全曹青もWFBYと同じく五十周年を迎えます。社会の変化と新しい時代を見据え、五十周年への歩みを進めたいと思います。そして千僧法要においては、三十数年間続いてきた

伝統を守り伝えながら、全曹青も参加、協力を続けてまいります。年々発災する自然災害や世界各地で起こる戦争など、多くの困難に苦しんでいる人たちに同事の心で寄り添い、祈りを捧げたいと思います。

全日仏青公式YouTubeチャンネルで、法要当日の様子をご覧ください。



上記のQRコードを読み取って、ご視聴ください。



●執筆者プロフィール  
国際委員長 高柳龍哉

全日本仏教青年会 理事  
世界仏教徒青年連盟 事務局次長